



台東区産業振興計画の策定にあたって

台東区は、歴史と伝統に培われた下町の庶民文化が根づいております。また、多彩な台東区固有の文化は、都市の魅力を育み、観光・経済の活力を生み出すなど地域社会に対して大きな効果をもたらしております。

このような文化・観光・経済が連携する中で、本区産業は、江戸時代より商工業の中心地のひとつとして、手工業や製造業、それらの生産や流通を担う問屋・卸売業が集積する産業都市として発展してきました。

近年では、モノマチやエーラウンドなど、地域産業と若手クリエイターなどが主体となった「ものづくりのまち」を盛り上げる活動を通じて、まちの魅力を発信しております。

このような中、昨年7月には国立西洋美術館が東京都で初めて世界文化遺産に登録され、そして2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、本区産業の魅力を世界に発信し、大いに飛躍する千載一遇の好機が訪れております。

その一方で、経済のグローバル化の進展や国際貿易環境の変化、少子高齢化の進行による産業活力の低下や消費市場の縮小等、区内中小企業を取り巻く環境は大きく変化し、事業所数・従業者数の減少や製造品出荷額や商品販売額の減少など、地域経済にも深刻な影響を及ぼすことも懸念されております。

私は、このような国内外の変化に的確に対応し、地域経済のさらなる活性化を図るため、新たな「台東区産業振興計画」を策定いたしました。

本計画では、本区産業の目指すべき姿を「世界に躍動する産業都市 たいとう」とし、
(1)「歴史と伝統に裏打ちされた、確かな技術、高い品質、おもてなしの心に溢れたまち」
(2)「区民一人ひとりが自分らしく輝き、交流し、成長するまち」
(3)「世界に絆を拡げ、未来に向かって躍動し、多彩な産業の魅力にときめくまち」
の実現を目指してまいります。

そして、ものづくりのまち「台東区ブランド」の発信力の増進や近隣型商店街の活性化などの取組みを積極的に進めてまいります。

私は、これらの事業を着実に実施していくことにより、「元気な地域産業と商店街の創造」に向けて、全力で取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定にあたりまして、議論を重ねていただきました有識者や関係団体の皆様、貴重なご意見をお寄せいただきました区民や事業者の皆様に、心から御礼申し上げます。

平成29年3月

台東区長

服部 征夫